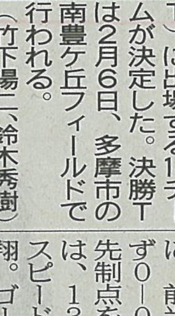
# みんなのスポーツ

©吉田戦車／小学館

## JA東京カップ第33回東京都5年生大会

都サッカー協会、都少年サッカー連盟、東京新聞、東京中日スポーツ主催

▽ペン&カメラ＝竹下陽二、鈴木秀樹



# 東京中日スポーツ　トリアネーロ町田
# 爆勝&激勝

初戦のＭＩＲＡＩＯ戦で４得点のトリアネーロ町田の高田

小学5年生以下のチームで編成されたチームで東京ナンバーワンを競う大会は6日、清瀬市の清瀬内山運動公園サッカー場で開幕した。都内16のブロック代表3チーム、計48チームが参加。初日は3チームずつに分かれたリーグ戦で戦い、決勝トーナメント（決勝T）に出場する16チームが決定した。決勝Tは2月6日、多摩市の南豊ケ丘フィールドで行われる。

（竹下陽二、鈴木秀樹）

### 中山大舞台で2発

一昨年の全国覇者・FCトリアネーロ町田（町田）が、爆勝&激勝で決勝Tに駒を進めた。

まずは、初戦のMIRAIO FC（中野）戦。前後半の30分、常に相手陣地でボールを支配して、10―0の完封勝ち。前半に4得点の高田悠月は「4得点については、特に感想はありません。それより、いつも通りのプレーができなかったのが悔しい」とちょっぴり浮かぬ顔。2戦目は後半から出場し、無得点に終わったことが、納得いかない様子。

その2戦目の相手は、同じくMIRAIOに10―0と完勝した立川九小SC（立川）。この試合は、初戦と違い、1点を争う緊迫した好ゲームに。前半は、ともに譲らず0―0のまま後半へ。先制点をたたき出したのは、130センチに満たないスピードスターの中山晴翔。ゴール前に忍者のように躍り出て、滑り込むようにシュートを決めた。

「ゴール前でロングボールが来て、10番（岡本翔太郎）がヘディングでボールを後ろにそらすのが察知できたので。誰よりも早く動いた。読み通りに来たぁ！と思って、シュートしました。キーパーも戸惑った様子で…」とニヤリ。さらに、中山はゴール前でまたしても岡本の右からのパスに右足でドンピシャで合わせて2点目。

「これまで、ここぞでゴールを外したり、キーパーの正面をつくことが多かった。ゴールでボールがコロコロ転がっているのを見て興奮しました」と得意満面の笑み。

一昨年は全国制覇も、昨年秋の大会は全国出場を決める決勝大会でまさかの1回戦負け。先輩たちの悔し涙も肥やしになっている。「いかにプレッシャーの中で力を発揮するか。緊張感の中で勝ちきることが大事」と吉田武史監督。トリアネーロ町田の底力がみられるのは、むしろこれからだ。

## 存在感アピール
### 東京都U11女子選抜

2戦目のUPFC戦で激しくせめぎ合う東京都U11女子選抜

東京都U11女子選抜が初戦のFC85オールスターズ（江戸川）に2―0と快勝した。前半は0―0で終了。後半に入り、高橋柚乃が先制ゴール。続いて、鈴木瑠菜が右から鮮やかなミドルシュートを決めた。ディフェンス陣の奮闘も光った。

長尾幸二監督は「無欲の勝利。目の前の戦いを一戦一戦戦うだけ」と話した。2戦目のUPFC（練馬）戦に勝ち2連勝となれば、女子チームとしては、大会史上初の決勝T進出となるはずだったが、前半開始早々の失点で出ばなをくじかれ、0―5の完敗。それでも、東京女子の存在感を存分に見せつけた。

東京ヴェルディJr.（緑）×JACPA東京FC（白）戦は接戦の末1―1のドローに

★試合形式…前後半15分の２ピリオドの８人制。１チームは16人以上の編成とし、第１ピリオドと第２ピリオドは選手を総入れ替えする。３チームのリーグ戦を行い、①勝ち点（勝ち＝3、分け＝1、負け＝0）②得失点差③総得点④直接対決の結果⑤抽選、により決勝トーナメント出場チームを決める。

# 東京ヴェルディJr.
# 激戦組突破

2戦ともに好セーブを見せた東京ヴェルディJr.・小野（青）

### JACPAと抽選

AからPまでのアルファベットが割り振られた予選リーグで、FCトリプレッタ渋谷Jr.（渋谷）、JACPA東京FC（小平）、東京ヴェルディJr.（稲城）の上位常連3チームが顔をそろえたのがIリーグ。激戦区を勝ち上がったのは、東京第11ブロック（町田、多摩、稲城）第3代表の東京ヴェルディJr.だった。

リーグ初戦、ヴェルディJr.×JACPAは1点ずつを取り合うドロー。次に、ヴェルディJr.が3―0でトリプレッタ渋谷を下した。

最後のカード、4点差以上の勝利で予選リーグ突破が決まるJACPAは、2―0で試合終盤へ。もはやこれまで―と思われた試合終了直前、「あきらめるな！」のベンチの声に応えるように、上田颯真が「低く、強くと思って打ちました」という3点目のシュートを突き刺した。

得失点で並び、JACPAとヴェルディJr.との抽選に。監督同士のくじ引きでは、ヴェルディJr.の松尾洋監督が勝利を引き当て、「運が強かったかな」と笑顔を見せた。

その松尾監督が「彼のスピードは群を抜いている」と認めるのが、4年生ドリブラー・大井然。トリプレッタ渋谷戦で、3点のうちの2得点をたたき出した。

「1試合目はキーパーと1対1の場面で決められなくて、悔しかった」という韋駄天（いだてん）は、2戦目、小林欧志の先制弾の直後、ドリブルで抜け出して2点目のゴール。前半終了間際には、スピードに乗ったドリブルで相手DFを置き去りにすると、最後はGKも抜き去って、無人のゴールに流し込んだ。

「二つとも決められてうれしい。将来は世界ナンバーワンの選手に」と喜ぶ大井。2戦とも後半に登場し、ファインセーブを連発したGK小野和紘は「もう少し早めの声掛けで、リスクマネジメントできていたら」と反省も忘れなかった。

# 城北 ボレアス 選手起用ピタリ
### 2勝で決勝T進出

予選リーグ２勝で決勝トーナメント進出を決めた城北ボレアスＦＣ

第6ブロック（板橋・北・豊島）予選3位で都大会出場を決めた城北ボレアスFC（北）が2勝を挙げ、決勝T進出を決めた。

初戦で強豪、FCトッカーノ（世田谷）を2―1で下し、青梅新町FC（青梅）との第2戦へ。前後半で選手総入れ替えが義務づけられた戦いで、「とにかく前半に得点して、後半は守り切ろうという作戦」と後藤凌5・6年生担当コーチ。前半は攻撃を厚く、後半は守備を厚く、の選手起用が功を奏した。

前半に矢内輝空、小山大翔らの得点で4―0とすると、後半は青梅新町に3点を許しながらも、ギリギリ守り切って勝利。「よく最後まで集中して、戦い切ってくれた」と後藤コーチ。小山は「決勝トーナメントでも、こんな戦いで勝ちたいです」と振り返り、矢内は「決勝トーナメントは、全力で戦って、とにかく1回勝って次へ、って進んでいきたい」と元気よく話した。

# DURO調布 収穫の初出場

2020年の活動開始から3年目で、初の都大会に挑んだDURO調布SC（調布）。大嶋康二監督は「といっても、コロナ禍でしたから、活動も思うようにできず…。そんな中で、頑張ってきてくれた子供たちですから、本当にうれしいですね」と、選手らをねぎらった。

ヴァロールSCイースト（江戸川）との初戦では、後半に「ずっと緊張しっぱなしだったけど、思い切り蹴れた」と、高村岳が右足を振り抜いて、都大会初得点となるゴールを決め、都大会初勝利。続く府中新町FC（府中）戦では前半に林佳祐がゴールを決めながら1―2で涙をのんだが、大嶋監督は「すべてがチーム初体験。1勝できて、いい経験になりました」と、収穫の多かった2試合を振り返っていた。

初戦で決勝点となるゴールを決めるDURO調布・高村

## ウエインズカップ中井インターシリーズ
### キッズカート 最終第7戦

# 最終ラップ最終コーナーまで熱戦

神奈川県の中井インターサーキットで行われている、キッズカートレース「ウエインズカップ中井インターシリーズ2021」の最終第7戦が11月21日に開催され、シリーズチャンピオンが確定した。

◇

▽デビュークラス（5台）　PPの佐々木選手がスタートを決めた後ろでは、団子状態で競っていた3台が4周目にスピンし、織田選手が2番手に浮上。安定した走りを見せた佐々木選手が優勝を決めた。

▽フレッシュマンクラス（5台）　スタートダッシュを決めた三重県から遠征のPP・馬場選手。2番手の菅選手をどんどん引き離し、断トツな速さを見せ初優勝を決めた。ランク首位の奥津選手が欠場のため、2位に入った石橋選手がシリーズチャンピオンを獲得した。

▽M4フレッシュマンクラス（4台）　PPの石田選手がスタートを決め、2番手以下の差が徐々に開き、前戦同様に安定した速さを見せた石田選手が3連勝を決めた。

▽M4エキスパートクラス（8台）　PPの笹川選手、2番手・石田選手、3番手・原澤選手の3台が最後まで団子状態。石田選手が笹川選手の後ろにピッタリ着くも、笹川選手が抑え切り今季3勝目を挙げ、年間王者を決めた。

▽エキスパートクラス（7台）　スタート直後のドタバタで、PP・内田選手の独走と思われたが、7周目には追いつかれ団子状態に。8周目に2番手に浮上した小林選手と、トップの内田選手とラップの攻防が続いたが、最終ラップの最終コーナーで小林選手が仕掛けるもスピン。内田選手が初優勝。チャンピオンには田辺選手が輝いた。

【デビュークラス】①佐々木新和（神奈川）②織田大和（東京）③岩水聖七（神奈川）④市川佑識（同）⑤西村晃（東京）

【フレッシュマンクラス】①馬場弥任（三重）②菅純輔（東京）③石橋悠眞（神奈川）④上野隼人（同）⑤オースティンマイルス（神奈川）

【M4フレッシュマンクラス】①石田櫂（東京）②堀江一稀（静岡）③原口桜弥（神奈川）④織田大和（東京）

【M4エキスパートクラス】①笹川瑛斗（神奈川）②石田陸（東京）③原澤稜（同）④早野貴丈（同）⑤長野快斗（埼玉）⑥高木剣芯（神奈川）⑧伊澤秀哉（同）⑨鶴貝拓海（同）

【エキスパートクラス】①内田丈一郎（神奈川）②小宮遥馬（同）③田辺莉央（同）④小林駿斗（同）⑤久田朱馬（同）⑥石田龍之介（京都）⑦村杉星弥（神奈川）

▶各クラスの表彰台▼

ウエインズカップ第７戦
中井インターシリーズ
フレッシュマンクラス

中井インターシリーズ 2021
2021年11月21日（SUN）
1
デビュークラス

中井インターシリーズ 2021
2021年11月21日（SUN）
M4フレッシュマンクラス

Nakai Inter Circuit
ウエインズカップ第７戦
M4エキスパートクラス

ウエインズカップ第７戦
中井インターシリーズ
2021年11月21日（SUN）
エキスパートクラス

31
38
66
sparco

【Aリーグ】①FCキントバリオ
（葛飾）1勝1分け②江東フレンド
リーSC（江東）2分け③トラスト
ユナイテッドFC（文京）1分け1
敗【Bリーグ】①FCオーパスワン
（足立）2勝②白百合SC（八王子
1勝1敗③ドラゴンガールズUn
ited（練馬・板橋）2敗【C
リーグ】①Refino（清瀬）2勝
②富士見丘少年蹴球団（杉並）1分
け1敗③桜町スポーツクラブ・サ
ッカー部（世田谷）1分け1敗【D
リーグ】①PELADA FC（練
馬）2勝②九曜FCJr.（板橋）1分
け1敗③西砂青少年SC（立川）1
分け1敗【Eリーグ】①城北ボレア
スFC（北）2勝②FCトッカーノ
（世田谷）1勝1敗③青梅新町FC
（青梅）2敗【Fリーグ】①Gran
t FC（日野）2勝②FC Wan
ragoma（東村山）1勝1敗③
バディFC・北区さくらガールズ
（世田谷・北）2敗【Gリーグ】①大
森FC（大田）2勝②五本木FC
（目黒）1勝1敗③三菱養和SC調
布Jr.（調布）2敗【Hリーグ】①FC
トリアネーロ町田（町田）2勝②立
川九小SC（立川）1勝1敗③MI
RAIO FC（中野）2敗【I
リーグ】①東京ヴェルディJr.（稲城
1勝1分け②JACPA東京FC
（小平）1勝1分け③FCトリプレ
ッタ渋谷Jr.（渋谷）2敗【Jリ
①Una Primavera
FC（練馬）1勝1分け②東京都U
11女子選抜　1勝1敗③FC85オ
ールスターズ（江戸川）1分け1敗
【Kリーグ】①バディSC江東（江
東）2勝②FC LEGARE（昭
島）1勝1敗③FCロケッツ（小
金井）2敗【Lリーグ】①FC
LAUNA（台東）1勝1敗②AR
TE八王子FCJr.（八王子）1勝1
敗③横河武蔵野FC・U―12（武
蔵野）1勝1敗【Mリーグ】①府中
新町FC（府中）2勝②DURO調
布SC（調布）1勝1敗③ヴァロ
ルSCイースト（江戸川）2敗【N
リーグ】①バディSC（世田谷）2
勝②西新井フレンドリーSC（足
立）1勝1敗③石神井SC（練馬）1
2敗【Oリーグ】①町田JFC（町
田）2勝②浜田山JSC（杉並）1
勝1敗③青梅2FC（青梅）2敗
【Pリーグ】①ヴィルトゥスS
（北）2勝②FC小平ウエスト・ス
ター（小平）1分け1敗③Sol
ilo Tokyo FC U
12（清瀬）1分け1敗

**みんなのスポーツ 公式HP**

紙面に掲載された写真を有料でお分けしています　←申し込みなど詳しくはこちらから

「みんなのスポーツ」は毎週木曜日の東京新聞（朝・夕刊）にも掲載。同地方版でも随時、記事を掲載しています。